

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 子ども家庭局

基本計画	柱	アジアのなかで成長する
	大項目	アジアを中心とした国際戦略の推進
	取組みの方針	アジアの発展に貢献する国際協力の推進

担当局 / 総務担当課名	子ども家庭局	子ども家庭政策課
連絡先	582 - 2550	

21年度計画

-1-(3)-

施策名 社会制度や社会問題などに関する国際協力の推進

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	男女共同参画の視点から、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムにおいて、アジアをはじめとする開発途上国における人材育成を目的とした国際研修などを推進します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	アジアの発展に貢献する国際協力の推進

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	年度	平成21年度		実績	-	年度	平成25年度
施策の成果	アジア女性会議参加者数	715人	715人	715 人	-	-	増加
	男女共同参画などの視点によって本市とアジアを結ぶ交流等の場である「アジア女性会議 - 北九州」について、市内外及び海外からの参加を通じて国際交流の拡充を図ります。	715人	715人	%	%	%	%
	海外通信員招聘事業による訪問交流等参加者数	212人	212人	212 人	-	-	増加
	アジアを中心に世界各国から公募する海外通信員の経験者を招聘し、男女共同参画の視点などに立って市内の学校や関係団体等との交流の拡大を図ります。	212人	212人	%	%	%	%
コスト	A時点 -			事業費	60,236 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
	B時点 -			うち一般財源	60,236 千円	5,175 千円	
	C時点 22.7月 [21年度:執行額]						

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	財団法人アジア女性交流・研究フォーラムにおける調査・研究事業、国際交流・研修事業、情報収集・発信事業は、目標達成に向けて着実に進捗しており、概ね良い状況にあると考えます。
今後の局施策の方向性	施策の実現に向けて、現在の取組みを継続的かつ着実に進めるべきであるが、市からの派遣職員数については団体の財源等も勘案しながら見直す必要があります。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価	<input type="checkbox"/> 下記のとおり
---	---------------------------------

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	子ども家庭局	男女共同参画推進部
連絡先	582-2405	

基本計画	柱	アジアのなかで成長する
	大項目	アジアを中心とした国際戦略の推進
	取組みの方針	アジアの発展に貢献する国際協力の推進
	主要施策	社会制度や社会問題などに関する国際協力の推進

関連計画	北九州市男女共同参画基本計画(第2次)
事業期間	H16~
経費区分	裁量の経費

-1-(3)-

事業名	財団法人アジア女性交流・研究フォーラム事業
-----	-----------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する調査・研究、国際交流・研修、情報収集・発信等を行う(財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動を支援し、本市における男女共同参画社会の形成を推進します。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	社会制度や社会問題などに関する国際協力の推進	成果
				アジア女性会議参加者数
				海外通信員招聘事業による訪問交流等参加者数

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する調査・研究事業、国際交流・研修事業、情報収集・発信事業の実施	同左	同左	同左		同左
	現状	日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する調査・研究事業、国際交流・研修事業、情報収集・発信事業の実施	同左	同左	同左	同左		
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標	
	アジア女性会議参加者数					計画	-	年度
	男女共同参画などの視点に立って本市とアジアを結び交流等の場である「アジア女性会議 - 北九州」への市内外及び海外からの参加を通じて、国際交流の拡充を図ります。					実績	715 人	内容
	海外通信員招聘事業による訪問交流等参加者数					達成度		年度
コスト	アジアを中心に世界各国から公募する海外通信員の経験者を招聘し、男女共同参画などの視点に立って市内の学校や関係団体等との交流の拡大を図ります。					計画	-	年度
						実績	212 人	内容
単年度計画	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]					事業費	60,236 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 5,175 千円
						うち一般財源	60,236 千円	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度は、デートDV予防啓発に関するニーズ調査及び教材作成等プログラム開発などの調査・研究事業、国内外から講師を招聘して開催した「アジア女性会議 - 北九州」(毎年開催)や韓国・忠清南道女性政策開発院との学术交流協定締結などの国際交流・研修事業、海外通信員による市内の小学校・高校への交流訪問等や情報誌「Asian Breeze」発行などの情報収集・発信事業について、当初計画のとおり実施しました。
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4:高い 3:やや高い 2:やや低い 1:低い	4	本市における男女共同参画社会の形成の推進を図る上で、本市はもとより日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する現状と課題に精通し、地域から海外まで幅広いネットワークを有する(財)アジア女性交流・研究フォーラムの役割は大きく、施策に対する効果が高いと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。		3	男女共同参画に関する高い専門性と幅広いネットワークを有し、総合的な事業実施ができる、全国的にも数少ない団体であり、同種の事業を同程度のコストと効率で実施できる団体は他にないと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	男女共同参画の推進は、国連をはじめ世界の大きなうねりの中で進められており、国際的な社会情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応しながらアジア諸国等との連携を進めることが重要であり、適時性は高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。		4	市の施策を推進する補助金事業であり、市の関与は今後も必要であると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ア	本市における男女共同参画社会の形成の推進を図るため、研究成果を市民に還元する方法を工夫しながら、今後とも本事業を継続的かつ着実に進める必要があります。